

○コロナ禍の中、裸祭の伝承を考える



祭りといえば、普通、私たち氏子や地域全体の「五穀豊穡」とか「疫病退散」などを祈願するものと思いますが、皮肉なことに、新型コロナウイルス感染症という疫病から氏子を守るため、見付天神裸祭におきましては、令和2年・3年と2年間、元宮天神社例祭にもあたる祭事始、矢奈比賣神社の例祭（大祭初日）といった最低限度の神事執行と、浦安の舞の奉納等に限り、それ以外の祭礼に伴う諸行事は全て自粛を余儀なくされました。かつて疫病の原因もその防除の術も知らない昔の人々が、すがる思いで祭礼を挙行し、その伝統としきたりを拠り所にしていた時代に思いを馳せますと、科学の著しい進歩によって疫病の原因や対処方策の明らかな今日において、「五穀豊穡」を「疫病退散」等を祈願して挙行すべき祭礼を自粛し、止むを得ないとはいえ、毎年行うべき伝統としきたりを凍結している今の状態に、何か矛盾のようなものを感じるとともに、祭礼に接して溢れる人々の笑顔が遠くなっていく現状は、果たして昔に比べて心豊かな生活を送れているだろうかと複雑な思いもいたします。

左は、昭和5年8月の矢奈比賣神社赤鳥居前で境内に参集する裸衆を捉えた古写真を印刷した旧三友堂印刷の絵葉書です。よくみると子どもが多く、大正3年に始まったと伝わる子供連の練りの様子を写したものでしょうか。いつかまた子ども達の活気あふれる「オイショ」の声を聞きたいと心から願っています。

○新型コロナウイルス対策4つの基本方針（令和2年11月29日付け理事会承認）

国重要無形民俗文化財「見付天神裸祭」を新型コロナ禍から再生させるために、

- 1 令和元年度まで実施した「見付天神裸祭」の全ての諸行事を、いつか再生させて実施する。
- 2 裸祭を保存伝承するため、できることを保存会で協議し、「3密」を避けて実施できるものは実施する。
- 3 祭りに参加する氏子の健康と安全を確保する。
- 4 祭りの観客の健康と安全を配慮する。

新型コロナウイルス感染症が国内で拡大した最初の年の令和2年、このままでは見付の先人たちが受け継いできた伝統や歴史文化が衰亡してしまうという危機感から、やむなく最小限度の神事等を実施した2ヶ月後に保存会理事会で承認・採択されたのが、上の4つの基本方針です。ここでは、氏子だけでなく観客（見物客）を含めて祭礼を支えてくださっている人々の全ての健康と安全に留意するとともに、あらゆる困難を乗り越え、再び令和元年度以前の元通りの祭礼が実施できるよう、継続的な努力を惜しまない、という決意を込めました。

○6月12日（日）開催の総会で了解されたこと

- ・保存会の活動計画（スケジュール）とともに、次の重点活動方針が承認されました。
 - 1 新型コロナ禍における安全な裸祭の実施 感染状況を踏まえて、実施する裸祭の諸行事の詳細を各部会で協議し、合意の下で全体会議までに令和4年度の実施要領を作成します。
 - 2 令和元年までの祭りを再生することを協議する 崇敬者会、自治会、実行部会、青年部、事務局の各部会が、主体的に行ってきた「見付天神裸祭」を再生させるための問題点と具体的な課題を協議し、できるものからアクションを起こしていきます。
- ・「コロナ禍における感染症安全対策実施要領〈令和4年度版・総論編〉」が承認されました。この要領では、令和2年11月29日に理事会で承認された4つの基本方針に基づき、主に

- #祭礼の諸行事実施の可否判断の時期・基準の明文化
- #諸行事に参加する者に対して、事前登録の上、健康管理及び行動管理を行うこと
- #参加者に対してワクチン接種を推奨すること
- #新しい生活様式（不織布マスクの着用、適度な社会的距離の確保等）を踏まえた祭礼の諸行事の実施
- #祭礼の伝統としきたりを守ることでできる適切な対応策の具体的検討を行うこと
- #感染防止安全対策とチェックリストの作成を、事務局が行うこと

について定めたものです。今後は、これらを実施手法の共通事項として、祭礼の諸行事について、それぞれの組織で具体的手法を検討して、全体会議までに各論編を作成していくことを確認しました。

○新体制がスタートしました

6月12日の総会で、保存会の新しい体制が承認されました。

主な役員は次のとおりです。

どうぞよろしくお願いします。（括弧内は町名です。）

- 会 長：中山正典（幸町）【新任】
- 副 会 長：小杉泰久（河原町）、宇藤 孟（元宮町）
- 副会長兼実行部長：伊藤兆彦（住吉町）【新任】
- 青年部長（事務局員併任）：広瀬英一（西坂町）【新任】
- 事 務 局 長：大橋 剛（宿町）【新任】
- 副 事 務 局 長：名倉康二（東坂町）【新任】
- 事 務 局 会 計：石山 直（美登里町）【新任】
- 事 務 局 員：前島貴宏（河原町）、渥美賢吾（幸町）
安形勝彦（馬場町）、松本直希（二番町）
松浦 努（住吉町）【新任】

○今後の予定

- 6月19日（日）事務局会 （19：00～）@見付天神つつじ館
- 6月25日（土）興番出御・現地トライ （ 9：00～）@見付天神
- 6月26日（日）実行部会 （19：00～）@見付交流センター
- 青年部会 （19：00～）※場所は別途調整
- 6月30日（日）崇敬者会 （ 6：00～）@見付天神
- 7月 2日（土）役持ち会議 （19：00～）@見付天神つつじ館
- 7月 3日（日）事務局会 （19：00～）@見付天神つつじ館
- 7月17日（日）実行部会 （19：00～）@見付交流センター
- 青年部会 （19：00～）※場所は別途調整
- 7月12日（火）自治会地区会 （19：00～）@見付交流センター
- 7月24日（日）理事会 （19：00～）@見付天神つつじ館
- 8月 7日（日）全体会議 （19：00～）@ワークピア磐田
- 8月28日（日）祭事始・御斯葉おろし
- 8月31日（水）浜垢離
- 9月 2日（金）御池の清祓い
- 9月 3日（土）例祭・裸祭
- 9月 4日（日）還御

遠州『やらまいか』講演会

開催のお知らせ

日時：令和4年6月26日（日）

13：40～16：05

※事前申込み不要

会場：ワークピア磐田

講師：長谷川 智 氏

（内容）長谷川智氏は、磐田市掛塚出身のジャーナリストです。朝日新聞静岡県版で連載されていた『遠州考』をベースに、遠州地方の文化的土壌や祭り文化について大いに語っていただく予定です。

主催：静岡県民俗学会

遠州常民文化談話会

共催：見付天神裸祭保存会

掛塚屋台囃子保存会

後援：磐田市教育委員会

磐田南高校同窓会

【問合せ先】

静岡県立農林環境専門職大学

中山研究室

電話：0538-31-7934